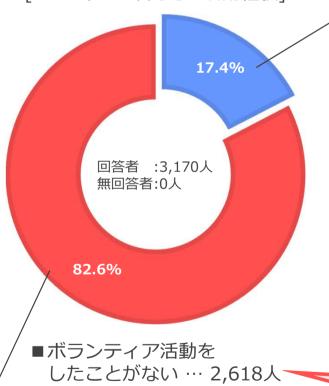
新居浜市SDGs推進プラットフォーム 分科会企画

分科会番号 8 分科会名称 「ちょっといいコト。 新居浜まるごと人事部(仮称)プロジェク 2024年6月24日 有限会社永井商會

2021年 ボランティア活動をした人

ボランティア活動経験の有無

[2021年の1年間での活動経験]



※内閣府「令和4年度 市民の社会貢献に 関する実態報告書」より抜粋(複数回答) ■ボランティア活動をしたことがある … 552人

男性 : 19% / 女性 : 16% 独身 : 14% / 既婚 : 18%

公務員:27% / 自営業:26% / 会社員:13%

活動への参加の目的(理由)

社会の役に立ちたいから:59%

自己啓発・成長につながるから:34%

職場の取組みの一環として:11%

活動に参加できない理由

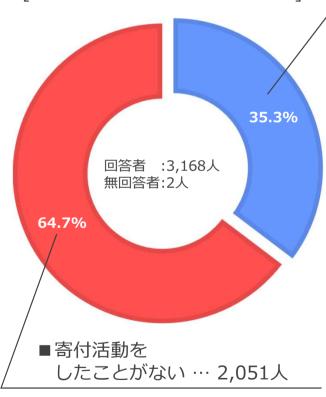
参加する**時間**がない:45%

ボランティア活動に関する情報がない:41%

2021年 寄付活動をした人

寄付活動経験の有無

[2021年の1年間での寄付の経緯]



※内閣府「令和4年度 市民の社会貢献に 関する実態報告書」より抜粋(複数回答) ■寄付活動をしたことがある … 1,117人

活動への参加の目的(理由)

社会の役に立ちたいから:53%

町内会・自治会の一環として:32%

所得税が軽減されるから:16%

寄付した機関

保険·医療·福祉分野:32% / 災害救助支援:24% 子ども·青少年育成:22% / まちづくり:20% 国際協力·交流:12% / 自然·環境保全:10%

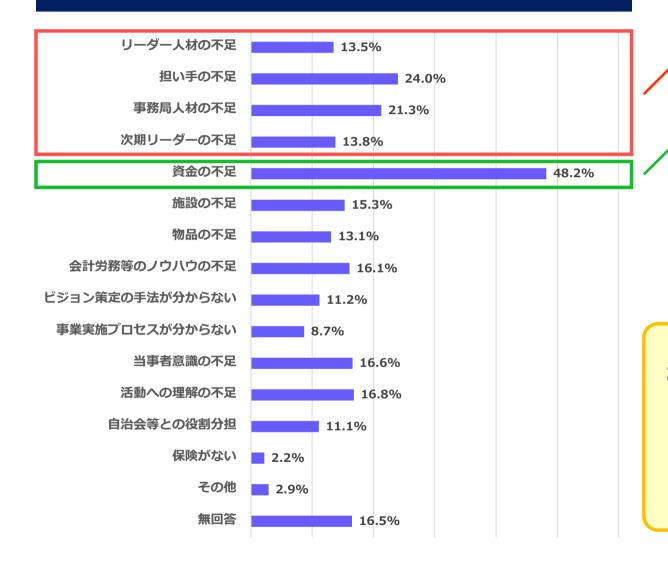
寄付の方法

募金箱:22% / 振込·口座引落:22%

クレカ・電子マネー: 22%

給与天引き:1.3%

地域運営に関する課題



■人材不足(トータル):71.5%

■資金不足:48.2%

地域運営の課題1位は、人材不足

総務省の調査によると地域運営の 課題は地域に貢献する**人材不足** だということがわかります。

実証実験 [垣生海岸清掃]

地域のお困り事

垣生海岸の遊歩道にススキが生い茂っている。

▶ 人が集まらず、手つかずの状態になっている。



チカラをかりたい。



チカラになりたい。

▶情報提供

『チカラになれること。』を見える化すること (情報提供)で、多くの人が賛同し参加。





2023年9月3日 撮影

解決したい課題 [1/2]

新居浜市には"まちづくり"の **『中間支援組織**』 がない。



地域の課題解決に取組むには 団体と企業のマッチングが 少ないため、広げる必要がある。

地域活動を推進する **『担い手**』 が不足している。



「チカラになりたい。」 点でなく面としてアプローチ する手段がない。

※中間支援組織とは…

行政と地域の間に入って社会の変化やニーズを把握し、地域における様々な団体の活動や団体間の連携を支援する組織。

解決したい課題 [2/2]

※新居浜市SDGs推進プラットフォーム資料より抜粋

新居浜市における3分野の地域課題について





課題(1)

経済

市内には持続可能な成長を目指す 魅力的な企業(職場)が存在するが、市民 に十分認知されていない。



- ●新居浜市SDGa推進企業登録制度
- 新居浜市働き方改革推進企業登録制度
- ●新居浜市女性活躍等推進事業所認定制度
- 新展派市創業支援補助会



経済面の相乗効果① 本市への移住者増加

市内企業の人材時保

補完型

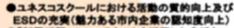
三側面をつなぐ統合的取組

新居浜市SDGs推進プラットフォームの設置



社会

ド醸成を図っているが、現時点では定住人口の





- ●「学び方ノート」を活用した小学校6年間 のSDGa教育の推進
- 生涯学習大学におけるSDGaに関する学びの



私たちは「民間主導の行政補完型モデル」に向けて取り組みます!!



- 本市企業の持続的な操業 社会評価獲得による企業の
- 魅力向上、人材確保

課題②



SDGsを意味した市氏、 団体等の増加

環境面の相乗効果(2) 環境配慮行動の増加に よる市民の市への誇り・ 受着の高まり

86088 • Tox took Ar Look

カーボンニュートラルの実現のためには行政、 市民、団体、企業が一体となり取組を強化す る必要があるが、機運の高まりは低調である。

新居浜市の実態

新居浜市への 愛着度は?

自己満足の発信になっていないか?

新居浜市

参加ニーズとの ズレはないか?

価値観の押し付けになっていないか?

今回のご提案

新居浜市の実態を知る

新居浜つなげる人事部(仮称)プロジェクト



新居浜市の実態を知ることから始める・・・

新居浜市全体を"会社に見立てる"

▶従業員(市民)のそれぞれの強み「チカラ(知見・ノウハウ)」を 集めて、地域の課題を解決する仕組みを構築する。

『チカラになれること。』の見える化

活動内容

新居浜つなげる人事部 アンケート調査

市民の寄付やボランティア活動の実態(意識)把握を明らかにし、共助社会づくり及び社会貢献に関する施策立案のための基礎資料を得るためのアンケートを実施します。

新居浜つなげる人事部 マッチング(つながるポイント)

上記アンケート調査をもとにした中間支援組織を組成。 新居浜市SDGs推進プラットフォーム専用のアプリを弊社から提供し、 分科会メンバーの知見やノウハウを結集してカスタマイズを実施。

『チカラになりたい。』と『チカラをかりたい。』をマッチング

※新居浜市ボランティア・市民活動センター、新居浜市地域コミュニティ課との連携模索。

プロジェクト推進体制(案)



地域住民·地域団体



市民参画促進

[双方向型情報発信]



新居浜市SDGs 推進プラットフォーム



新居浜つなげる人事部 プロジェクト分科会

プロジェクト推進

[アンケート・マッチング]

企業(団体)連携

情報発信·共有

中間支援組織

新居浜市

総合政策課

[部局横断調整] [新居浜公式LINE活用]

産業振興課

[企業アプローチ]

地域コミュニティ課

[ボランティア関係]

地域福祉課

学校教育課etc...

- ■アンケート調査(実態把握)を通した『市民参画』の促進。
- ■地域の課題解決に取組む『団体と企業のマッチング』を増。
- ■地域活動を推進する 『担い手』を増。
- **■「チカラになりたい。」**方への **『面的アプローチ』を増。**
- ■魅力的な企業を『第三者的に広報』

企業ブランディング・採用活動の1つに!

実施スケジュール(案)

2024年7月~9月



分科会参加企業募集・アンケート調査内容決定・開始

2024年10月~12月



アンケート結果集計(共有)・中間支援組織組成・アプリカスタマイズ

2025年1月~3月



プロジェクト説明会実施(随時)・マッチングアプリ稼働

2025年4月~6月



稼働状況共有(課題抽出)・アワード開催準備・まとめ

期待される効果

アンケート調査による実態把握

■アンケート調査(ボランティア活動や寄付)による実態(意識)把握は、 地域づくりや社会貢献の**関係人口を増やすための課題**が明確となり、 本プラットフォーム会員および行政と共有する事により、公民連携 に向けての礎となる。

アプリ活用による活動の促進

■参加に応じてアプリ上に貯まる「新居浜市SDG s つながりポイント」の データを活用して、多く利用した人や場所を対象にSDGsの推進や 地域コミュニティの活性化に貢献したことを称えるアワードを開催するなど、 『チカラになりたい。』と思っている、ボランティアに興味を持つ層の目線に 立ち、行動に移したいと思っている活動層への変容を促すことが期待できる。

新居浜市SDGs推進プラットフォーム 分科会企画

チカラになりたい。×チカラをかりたい。

新居浜つなげる人事部(仮称)プロジェクト

多くの会員・関係者の皆様に参加いただけると幸いです。 また、行政(新居浜市・愛媛県)・各種団体など関係者各位の ご協力をお願いいたします。

多くの方の参加をお待ちしています。